

2026 年夏、東京メトロ本社を移転します

～「自由な発想で挑戦」し「横断連携による価値創造」を促す環境と「社員エンゲージメントが高まる」オフィスへ～
～まちづくりの進展状況等を見極めつつ、将来上野に再移転～

東京地下鉄株式会社(本社:東京都台東区、代表取締役社長:小坂 彰洋)は、現本社の老朽化や社員エンゲージメント向上を含めた職場環境等の課題に対応するため、MSH 日本橋箱崎ビル(東京都中央区日本橋箱崎町)に2026年夏に本社オフィスを移転いたします。

新オフィスでは「自由な発想で挑戦」し「横断連携による価値創造」を促す環境と「社員エンゲージメントが高まる」空間を目指し、ユニバーサルデザインを取り入れ、緑が多く部署間コミュニケーションを促すオフィス環境と、業務内容やプロジェクトに応じて働く場所を選べる ABW※を実現します。

なお、今回は一時的な移転であり、現本社のある上野エリアへの再移転時期等はまちづくりの進展状況等を見極めつつ判断していきます。

※ ABW=Active Based Working :業務内容に応じて適した場所を自由に選ぶ働き方

1 移転先オフィスの概要

- 【建物名】 MSH 日本橋箱崎ビル
【所在地】 東京都中央区日本橋箱崎町19-21
【移転フロア】 11階～13階
【移転時期】 2026 年夏



MSH 日本橋箱崎ビル 外観

2 新オフィスのデザインコンセプト

新オフィスでは、「自由な発想で挑戦」し「横断連携による価値創造」を促す環境と「社員エンゲージメントが高まる」オフィスを目指して、「platform of Metro」をデザインコンセプトに、東京メトロの働く場の基盤となる環境を実現します。

Design concept:

platform of Metro

東京メトロの働く場の基盤となる環境をデザインする

Context/コンセプトに込めた背景	Benefit/想定される効果
01.安心でオープンな環境を グループアドレスによる自由に意見を言い合える環境。	オープンな雰囲気からうまれる 自由な発想と挑戦マインド
02.多彩な選択肢を 目的に合わせて選べる執務空間のバリエーションとしてABWを導入。	多彩な選択からうまれる 自律心の向上
03.みんなで集まるきっかけを 垣根をつくらない空間づくりとコラボレーションを促すエリアの配置。	横断的なつながりから自然とうまれる 協働の活性化
04.東京メトロらしさを 東京メトロらしさを共有でき、自社を誇れる空間づくり。	らしさを改めて感じることでうまれる 愛着とエンゲージメント向上

3 新オフィスイメージ

来客エリア ※いずれも現時点でのイメージであり、今後変更になることがあります。



▲来客エリアでは、東京メトロらしさを発信しお越しいただいた皆様楽しんでもらえるようなエリアを目指します。また、東京メトロらしさを改めて感じるによる社員の東京メトロへの愛着の醸成やエンゲージメント向上を図ります。

執務エリア



執務スペースではオープンな環境により、自由な発想や挑戦するマインドを生み出し新たな価値創造を図ります。▼



▲カフェエリアや集中スペースなどさまざまな種類の執務スペースを配置することで業務内容等に応じて適した場所を選んで働くABWを実現するほか、役職や部門を超えた交流を促進し新たなイノベーションが生まれる場を目指します。